

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	キャリア意識の醸成を指向した薬学人教育の実施				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	眞鍋 敬
	研究分担者	所属・職名	薬学部・薬学研究院	氏名	全教員
		所属・職名		氏名	外部講師
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	眞鍋 敬

講演題目	キャリア意識の醸成を指向した薬学人教育の実施
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>薬学部では平成 30 年度入学生から 4 年制薬科学科と 6 年制薬学科を入学時から分ける分割入試を実施しており、令和 3 年度に 4 年目を迎える。その間、種々の課題も明らかになりつつある。これまでの知見の蓄積から、入学時から幅広い進路選択に向けたキャリア意識の醸成が重要であることが明らかとなってきた。そこで、幅広い視野を有する薬学人材を育成する以下の教育プログラムの実施した。</p> <p>(1)「薬学講座」等の講演会</p> <p>第 20 回薬学講座として次の 2 つの遠隔講演会を行った。ともに、薬学部の 1～5 年生は必修とし、その他の学生や教員も多く視聴した。①令和 4 年 1 月 12 日に田辺三菱製薬株式会社育薬本部メディカルインテリジェンス部 植田 喜一郎氏をお招きし、「SGLT2 阻害薬カナグリフロジンの創製と今」についてご講演いただいた。製薬企業における新薬開発の最前線を分かりやすく話していただいた。②令和 4 年 1 月 20 日に東京 HIV 訴訟原告団全国世話人 薬害エイズを考える会 代表 井上昌和氏、事務局長 浅川 身奈栄氏をお招きし、「生きる勇気、そして未来 ～薬害エイズ被害者・家族の思い～」についてご講演いただいた。薬害被害者の思いを話していただくとともに、薬学部生が肝に銘ずるべき内容についてもご指摘いただいた。</p> <p>(2)「薬物療法研修会」の開催</p> <p>第 152 回～157 回までの薬物療法研修会を実施し、外部講師の先生がたにご講演いただいた。各演題は以下のとおりである。「認知症の診療～最近の話題～」 「心腎関連の治療法」 「感染症医のおしごと：抗菌薬適正使用と予防接種戦略」 「統合失調症の治療 -薬剤選択のポイントを中心に-」 「重症 COVID19 肺炎における集中治療」 「COPD の診断と薬物治療」 「吸入手技に基づく吸入薬デバイスの選択」 (第 157 回のみ 2 演題)</p> <p>(3)「薬学概論」での外部講師による講演</p> <p>薬学部 1 年生の科目「薬学概論」において、薬学キャリアデザイン近藤寄附講座と緊密に連携し、外部講師 (本学卒業・修了生) による授業を 4 回にわたって実施した。医薬品や化粧品・香料の開発や製造にかかわる研究者、厚生労働省で薬事行政にかかわる職員、病院や薬局に勤務する薬剤師などの方々にご講演いただいた。1 年生のキャリア意識の醸成に大いに役立ったと考えている。</p>